

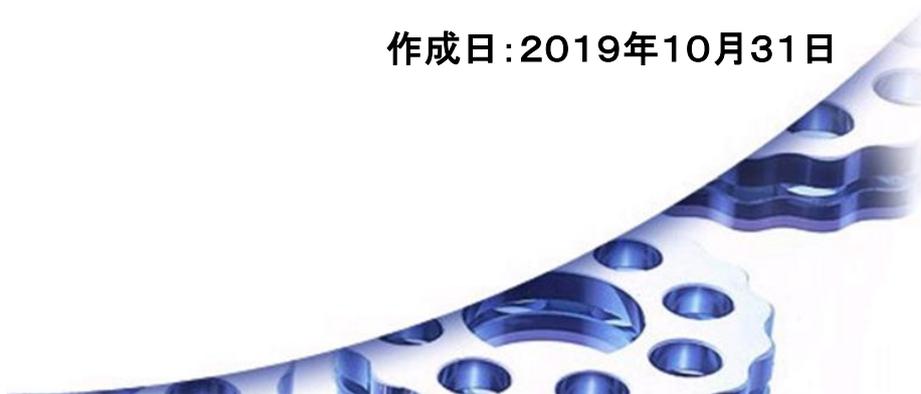
環境活動レポート

(期間 2018年9月～2019年8月)



広和機工株式会社

作成日：2019年10月31日



広和機工株式会社

環境方針

《基本理念》

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の最重要命題であり普遍のテーマであると考えています。

産業機械・設備の要である変・減速機・制御機器の販売とメンテナンスを主体とした事業活動を通じて、省資源、廃棄物の抑制等、環境にやさしい企業活動を継続して行なうことを約束します。

《行動指針》

(1) 私たちは、以下の行動指針に基づき、全社員が環境に配慮した環境保全活動を行ないます。

- ① 事業活動から生じる電力・自動車燃料の消費に伴うCO₂排出量の抑制に取り組みます。
- ② 事業活動における原材料の省資源、水使用量の削減、有害な化学物質の削減に取り組みます。
- ③ 環境に関連する法規制・地域条例及び自主的な基準の要求事項を明確にして遵守します。
- ④ 廃棄物の削減及び分別等によるリユース・リサイクルの推進を行ないます。
- ⑤ グリーン購入を推進し、環境負荷の低減に努めます。
- ⑥ 会社周辺の環境保全、清掃活動を行ないます。
- ⑦ 省力化・人手不足を補う製品の販売、提案を通して環境、社会に貢献する活動を行います。

(2) 環境指針は、全社員に周知を図り、社会情勢や環境の変化に応じて見直しを行ないます。

私たちの環境方針は、広く一般の人が閲覧・入手可能なように公開します。

令和1年8月26日
広和機工株式会社
代表取締役

余越剛吉

【組織の概要】

(1) 名称及び代表者名

広和機工株式会社
代表取締役社長 余越剛吉

(2) 所在地

本社 広島県廿日市市木材港北3番28号
宇部事業所 山口県宇部市大字棚井字門田501-5
広島営業所 広島県広島市佐伯区八幡東四丁目31番11号
南九州事業所 熊本県八代市三江湖町2279-3

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 向井秀城
連絡先 環境事務局 中村貴恵
TEL 0829-32-3201 FAX 0829-32-3204

(4) 事業内容

変減速機等の一般機械機器の卸売及び関連商品の修理
主要製品: 変減速機・モーター・ブロワー・油圧モータ

(5) 事業の規模

売上高 2438百万 (2018年9月～2019年8月)
(内サービス売上高 438百万)

	本社	宇部事業所	広島営業所	南九州事業所
従業員	31名	12名	1名	4名
延べ床面積	1100㎡	352㎡	30㎡	400㎡

(6) 事業年度 9月～8月

(7) 認定・許可事項(平成25年1月現在)

【本社】建設業許可 国土交通大臣 許可(般-28)第24251号 機械器具設置工事業
【広島営業所】ひろしまエコ事業所認定

【認証・登録の対象組織・活動】

登録組織名 広和機工株式会社
関連事業所 宇部事業所
広島営業所

活動 変減速機等の一般機械機器の卸売及び関連商品の修理

注) 2017年4月3日に正式に運営を開始した南九州事業所は、事業や業務が安定した時点(3年以内を目標)でエコアクション21の導入を行う。



【環境目標とその実績】

(1)環境目標 ☆中期目標値☆

環境項目		年度		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
		単位		基準値(実績)	目標	目標	目標
《二酸化炭素排出量》	原単位目標前年実績-1%			0.181			
電力の削減	kg-CO2/総売上高	万円		222,400	0.178	0.177	0.175
		kg-CO2		40,172			
自動車燃料の削減	目標削減率			—	前年実績を下回らない	前年実績を下回らない	前年実績を下回らない
(ガソリン車、軽油車燃費改善)	燃費	ガソリン	km/ℓ	17.5	17.5	17.5	17.5
		軽油	km/ℓ	8.0	8.0	8.0	8.0
《廃棄物排出量削減》	原単位目標前年実績-1%			144.4			
一般廃棄物の削減	廃棄量kg/社員数	人		45	143.0	141.5	140.0
		kg		6,500			
産業廃棄物の削減	原単位目標前年実績-1%			0.0032			
	廃棄量kg/総売上高	万円		222,400	0.0032	0.0031	0.0031
kg			7,113				
《排水量削減》	基準料金内での使用			—	基準料金内	基準料金内	基準料金内
水道水の削減	円						
《環境配慮資材購入》	全購入品に対する比率			—	75%	75%	75%
事務用品のグリーン購入	%						
《社会貢献活動》	会社周辺の清掃			—	定期的な清掃	定期的な清掃	定期的な清掃
	社会貢献活動の実施				年1回献血	年1回献血	年1回献血
《化学物質削減》	取扱い使用量が微量のため削減は難しいが適正に使用管理、定期的な確認を行う			—	適正に管理 使用確認	適正に管理 使用確認	適正に管理 使用確認
《自らの事業活動による環境への取組》	旧型使用客先から 高効率モーターへの 切替促進活動	台		—	年150台更 新切替	年150台更 新切替	年150台更 新切替
						年12台販売	年12台販売

※年度は営業年度(9月から8月)の数値

※数値は全社を表す。

※電力CO2排出係数は各事業者ごとに使用される数値0.694(中国電力)、0.359(リコー)、0.493(ミツウロコ)を使用します。

※電力に関する数値のみ広島営業所を含む。

※CO2排出量改善と廃棄物削減目標の値は現状を鑑み原単位目標とする。

※燃費改善目標についても現状を鑑み前年実績を下回らない目標とする。

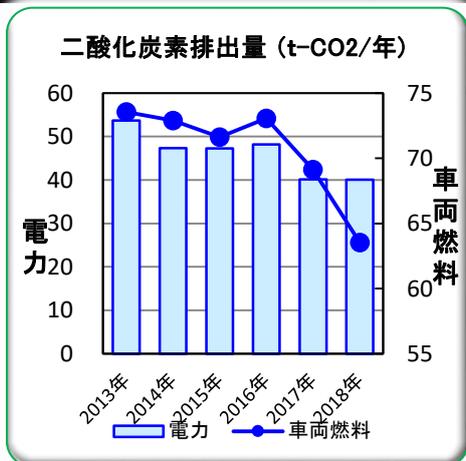
※「自らの事業活動による環境への取組」については今後IE3モーターは必要項目となるため、2014年度からは『旧型使用先から高効率モーターへの切替促進活動』として活動を致します。

※同取組について、2019年度からは協働ロボットの拡販を行います。(12台/年)

【環境目標とその実績】

(1)2018年度 環境目標達成状況

環境項目		年度 単位	2017年度	2018年度	2018年度	評価		
			基準年(実績)	目標	実績			
二酸化炭素排出量	電力の削減	対基準年度原単位	0.181	0.178	0.164	○		
		総売上高	万円	222,400	—		243,800	
		使用量	kWh	83,192	—		72,036	
		CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	40,172	—		40,092	
自動車燃料の削減 (ガソリン車、軽油車燃費改善)	自動車燃料の削減	対基準年度燃費結果	—	前年実績を下回らない	ガソリン0.9%改善 軽油2%改善	○		
		燃費	ガソリン	km/ℓ	17.5		17.5以上	17.65
			軽油	km/ℓ	8.0		8.0以上	8.20
		CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	69,122	—		63,539	



二酸化炭素排出量年度推移表(単位kg-CO₂)

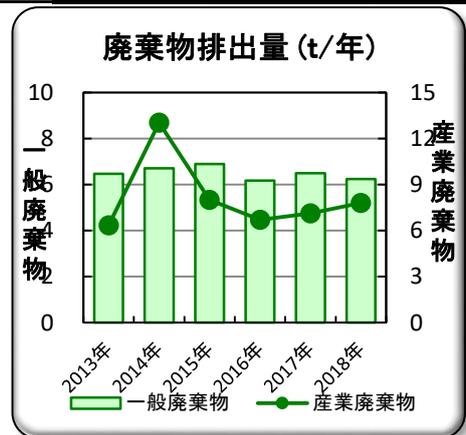
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
電力	53,704	47,328	47,260	48,194	40,172	40,092
車両燃料	73,552	72,908	71,632	73,053	69,122	63,539

主な要因

☆節電意識の向上

車両燃料についてはハイブリット車への切替

環境項目		年度 単位	2017年度	2018年度	2018年度	評価
			基準年(実績)	目標	実績	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	対基準年度原単位	144.4	143.0	130.0	○
		廃棄量/社員数	kg/人	6,500/45	—	
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	対基準年度原単位	0.032	0.032	0.032	△
		廃棄量/総売上高	kg/総売上高	7,113/222,400	—	



年度推移表(単位kg)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
一般廃棄物	6,470	6,710	6,900	6,180	6,500	6,240
産業廃棄物	6,345	13,033	7,992	6,703	7,113	7,810

主な要因

☆産業廃棄物について総量は増えたが原単位目標は横ばいで推移

☆一般廃棄物について削減意識向上

【環境目標とその実績】

(1)2018年度 環境目標達成状況

環境項目	年 単位	2017年度	2018年度	2018年度	評価
		実績	目標	実績	
《排水量削減》 水道水の削減	対基準年 度原単位 使用量m ³ / 人数	6.970 314/45	前年実績を 上回らない	7.229 347/48	×
《環境配慮資材購入》 事務用品のグリーン購入	全購入品に対 する比率 %	61%	75%	67%	×
《社会貢献活動》	会社周辺の清掃 社会貢献活動の実施	定期的に実施 2018.3.29実 施	定期的な清掃 年1回献血	定期的に実施 2019.3.27実 施	○
《自らの事業活動によ る環境への取組》 高効率モータ付減速機 の販売	旧型使用客先 から高効率モ ーターへの切替 促進活動 台	年間更新 476台切替	年間更新 150台切替	年間更新 433台切替	○
《化学物質削減》	取扱い使用量が微量のため 削減は難しいが適正に使用 管理、定期的な確認を行う	適正に管理 使用を確認	適正に管理 使用を確認	適正に管理 使用を確認	○
《LPG使用量の削減》	年間使用量が少量のため適正に管理の上取組からは除外				
《灯油使用量の削減》	年間使用量が少量の上、暖房機器には使用されていないので取組からは除外				

☆献血活動

今期で7年連続実施！
近隣会社からも参加者多数

参加者 47名(男性39名女性8名)
☆献血者 38名(男性35名女性3名)



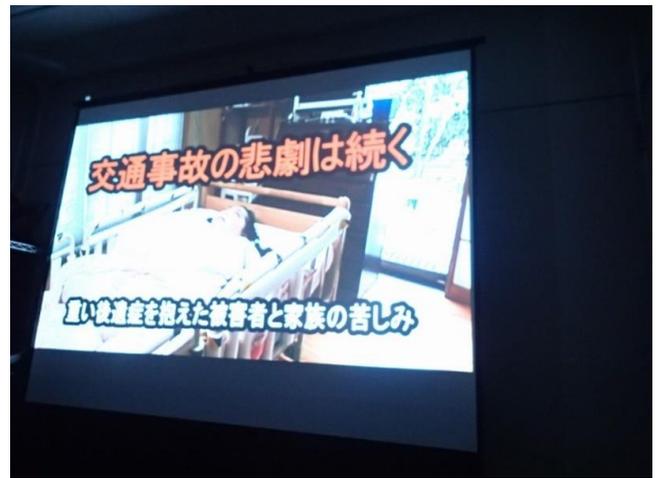
【環境活動の取組計画と評価】

取組計画	評価(結果と次年度の取組み)
二酸化炭素排出量削減	<p>【総評】電力、車両燃料について目標達成できました。</p> <p>この削減活動が働き方の見直しにもつながるような取組に今後なることを期待します。</p>
電力の削減(kg-CO₂) ①空調用フィルターの定期的な清掃 ②エアコン設定(冷房28℃、暖房20℃) ③水曜日6時半退社 ④照明機器の省エネ型への切替	<p>全社では目標達成できた。</p> <p>前期同様に猛暑の状況によっては、体調管理を最優先として設定温度を適正温度に設定し使用する必要がある。その上で不要な使用を削減するよう周知徹底していきたい。繁忙期には定時退社は実情難しい状況ではあるがこの取組を推進することで働き方の改善にもつなげていきたい。</p> <p>照明機器等の清掃は定期的に行っている。</p>
自動車燃料の削減(kg-CO₂) ①朝礼時に安全運連10か条の呼掛け ②適切な車両整備 ③エコカーへの切替推奨	<p>目標は繁忙時期もあったが年間通してほぼ達成できた。</p> <p>社内の5S委員の定期的な監査や環境事務局から毎月の全体朝礼時のエコ運転の周知により燃費の向上に効果が表れている。また安全運転意識を高めるためのDVD講習実施を行い注意喚起を促した。</p>
一般廃棄物の削減(kg) ①梱包材削減のため事務用品をまとめて購入 ②集約コピー機能の活用徹底 ③分別廃棄後有価物への転換	<p>目標設定を原単位に変更したことで目標達成となった。業務量に応じて廃棄量は増減するが、分別廃棄により紙類は有価物への転換を推奨したことで削減に努めた。</p>
産業廃棄物の削減(kg) ①適正に管理破棄を行う	<p>目標は未達であった。</p> <p>以前からの要因である製品の梱包材の廃棄が多く占めるが再利用の難しい状況で現状対応の仕様が無いのが問題である。原単位比較することで未達ではあったが、基準年の状況を維持している。</p>
水道水の削減(m³) ①節水意識の向上 ②環境に優しい洗剤を使用	<p>目標は未達であった。</p> <p>特に不必要な使用はないが、本社では夏場の作業服の洗濯による使用が大きく影響している。宇部事業所では目標達成できた。今後も帰宅時の蛇口の確認も含め節水意識の徹底を周知していく。</p>
事務用品のグリーン購入(品目) ①環境ラベル認定品の購入徹底 ②再生紙利用の購入徹底	<p>今期も継続してグリーン購入を推進実施したが、目標は未達に終わった。都度使用する事務用品については徹底されている。</p> <p>今後も継続し、グリーン購入を徹底していきたい。</p>
社会貢献活動 ①会社周辺の年3回の清掃 ②年一回の献血	<p>定期的に会社周辺清掃活動実施。例年実施している献血活動も継続実施でき周辺企業の皆様にご協力いただいた。今後も地域貢献の一環として継続していきたい。</p>
高効率モータ付減速機の販売 ①PTC資料をもとに促進活動及び切り替え促進	<p>本社、宇部事業所と客先への継続的な拡販活動により目標達成。</p> <p>景況感が減速傾向となっているが環境配慮製品としてのPRとともに今後も拡販活動を継続し促進していきたい。</p>
化学物質の削減	<p>適正に管理し保管している。</p>

【各活動風景】

(安全運転教育)

各拠点にてDVD鑑賞



(地域清掃活動の様子)



(火災訓練の様子)



【環境関連法規の遵守状況】

当社に適用される環境関連法規は下表のとおりであり、これら法規への違反はありません。
なお、訴訟および関係当局より違反等の指摘も、過去3年間ありません。

適用される法規制	適用される事項	評価
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物の適正処理委託	違反なし
騒音規制法	設置機器等の届出	違反なし
振動規制法	特定施設の届出で、基準の順守	違反なし
浄化槽法	届出および定期点検	違反なし
消防法	潤滑油・灯油適正管理	違反なし
道路交通法	社用車20台以上を使用	違反なし

【代表者による評価】

世界規模の環境変化は、北極圏の海氷面積の著しい縮小、海面上昇、日本では台風の巨大化、大規模な洪水など、地球温暖化、劣化の警鐘としてまさに脅威となっています。

地域社会に社業、生活の糧を求め一員として、我々は例え小さな一歩であろうともCO2削減を念頭に、英知を働かせ行動力をもって環境改善に取り組む心掛けが肝要です。

ワークライフバランス重視の労基法の改正、有給休暇の5日間取得の義務化、働き方改革と労働環境の改善は、労働意欲を高め、結果としてEA21の信念であるCO2削減に大きく寄与すると考えます。わが社はEA21活動事務局を中心に会社規模で従業員の意識高揚を図り、環境改善・CO2削減に取り組んできました、その成果は全社に刷り込まれ、大きな成果につながっていると評価しています。社業ではエコ電力の導入、環境配慮車両の導入、廃棄物の削減、更には個々の社員が自意識をしっかりとって地道な環境改善活動・行動が目に見える形で浸透してきた賜物でもあります。

今後も、環境基本方針、新たな活動推進計画に基づき、EA21推進に深く関与し、地域を含めたオピニオンリーダーとして、より一層環境問題に真摯に取り組む姿勢を内外に示していく所存です。

令和1年10月30日
広和機工株式会社

